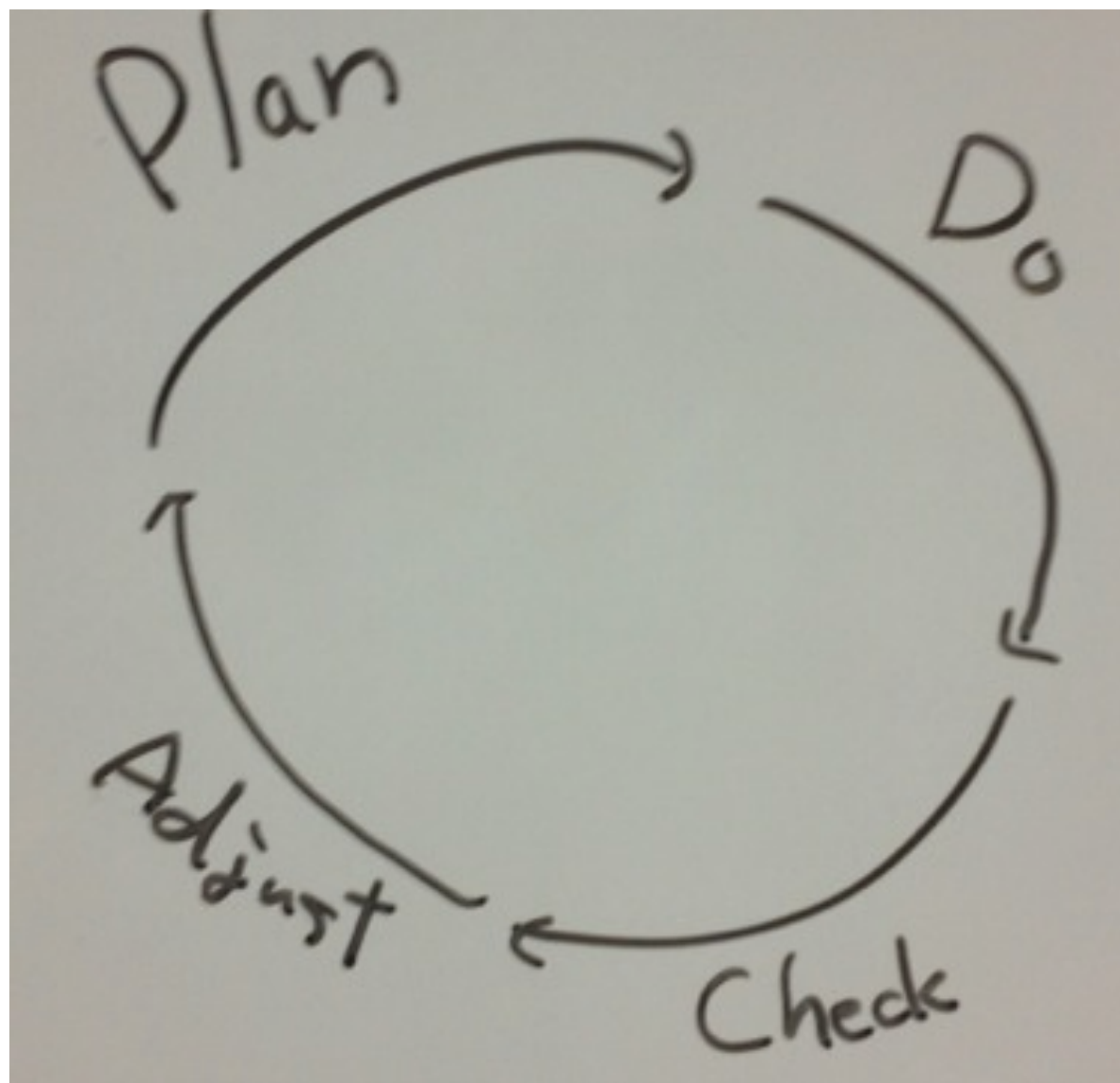


京大サマーデザイン スクール2014

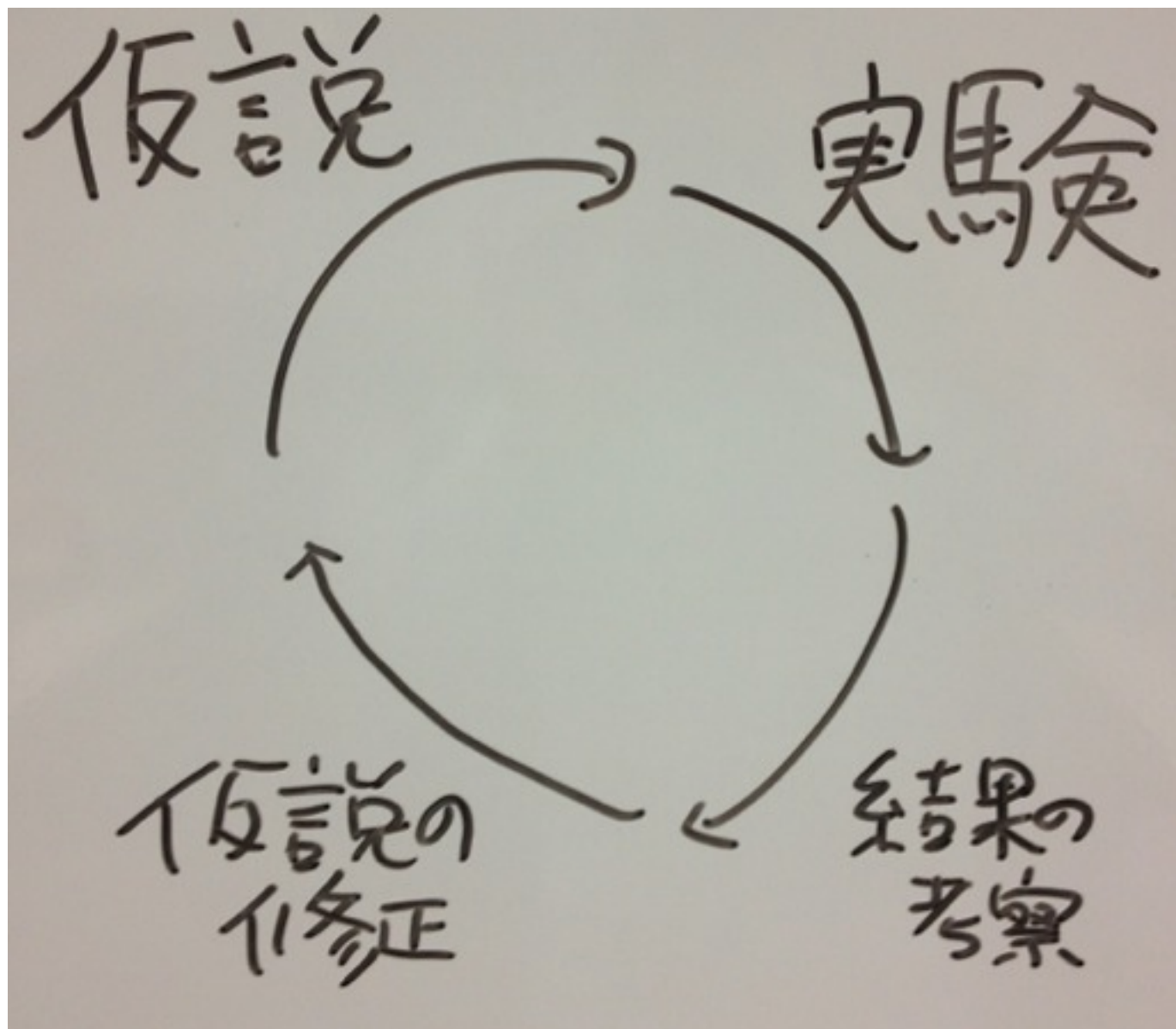
西尾泰和

PDCAサイクルと U曲線の関係

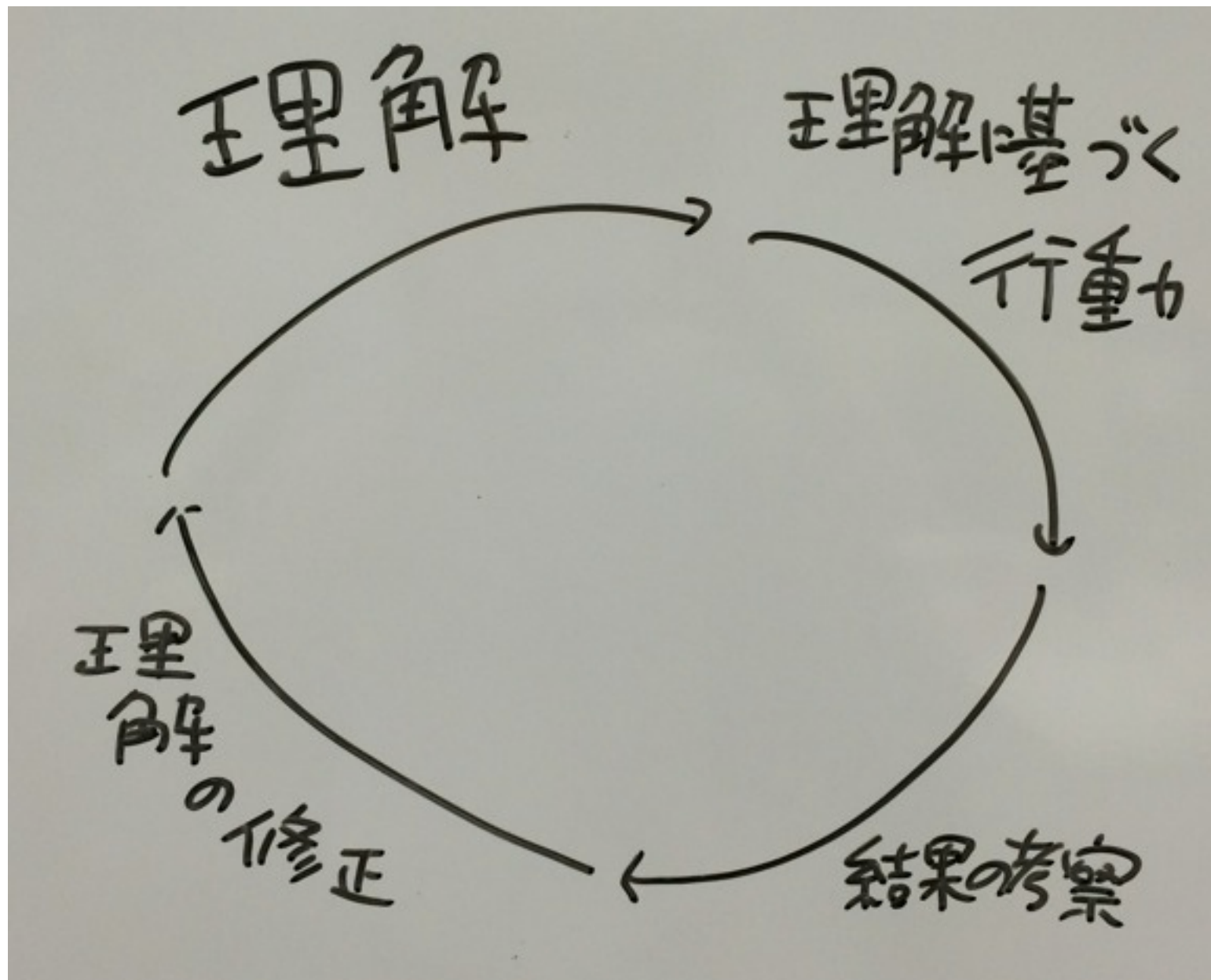
PCDAサイクル



AdjustではなくActとすることがメジャーだがAdjustの方がわかりやすい
「デミング・シューハート・サイクル」とも



計画は「このやり方でうまくいくはず」という仮説でもある



「うまくいくと思って行動したけど失敗した」が理解修正のチャンス

新しいことをやる場合
どこから始まる？

PDCAどこから始まる

- Adjust: Checkに基づきPlanを修正
- Check: Planで期待した結果と実際のDoの結果を比較
- Do: Planを実行
- Plan: これが唯一最初に実行できる

Planを雑に作って「まずはやってみる(Do)」もOK

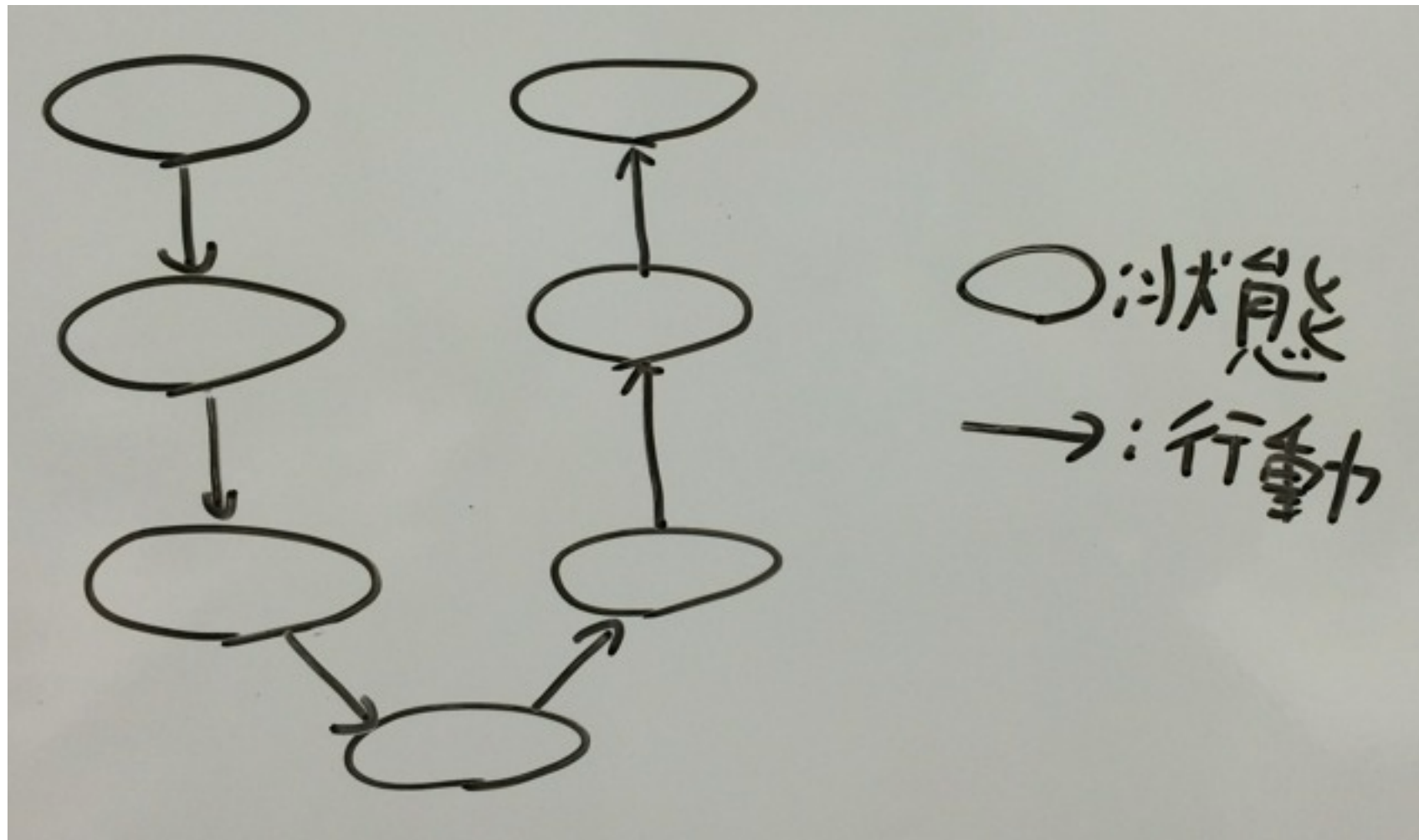
どうやって始める？

- どうやって最初の計画をたてるのか
- どうやって最初の仮説をたてるのか
- どうやって最初の理解をするのか

PCDAサイクルは

この疑問に答えてくれない

U曲線



C・オットー・シャーマー 「U理論」

Downloading

物事を「過去のパターンと同じだ」
という先入観を持って見ている状態



判断を保留する



Seeing

Seeing

物事を自分の視点から見ている状態



相手や第三者など自分以外の

視点での見え方を意識する



Sensing

Sensing

システム全体を見ている状態



手放す



Presencing

Sensingの時点では「過去に起きたこと」しか見ていない

Presencing

自分次第で現実になる

未来の可能性を見ている状態



迎え入れる



Crystallizing

自分がシステムに影響を与え、変化を起こすことができる、という発想

Crystallizing

新たなアイデアが創造された状態



具現化



Prototyping

Prototyping
試作品が創造された状態



既存のシステムと結合



Performing

試作品：物理的なものに限らず「新しい人事制度を実験的導入」なども含む

既存のシステムの一部として「埋め込む」(embody): 「実体化」とも訳される

Performing

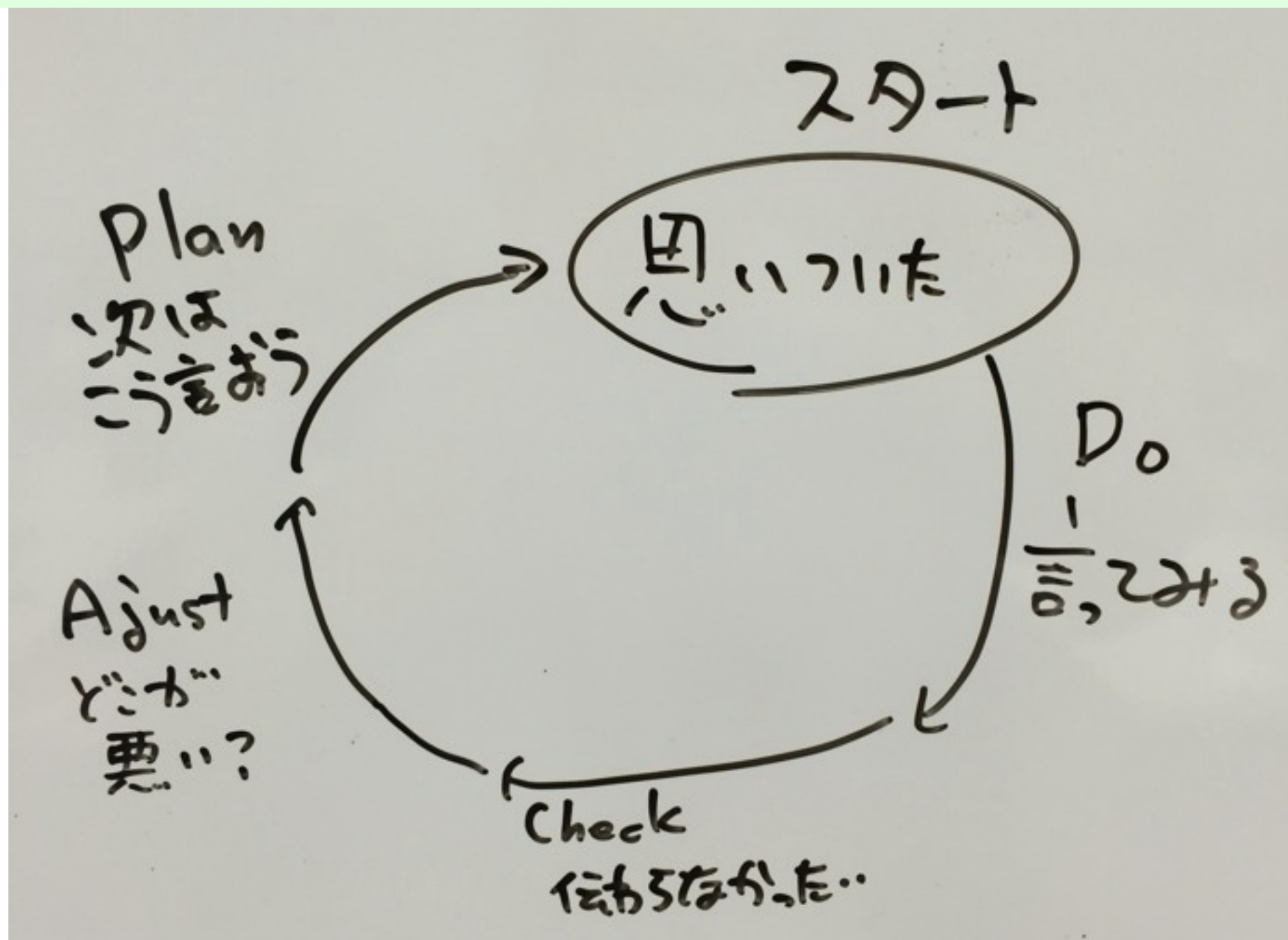
新たな実践が創造された状態

PCDAサイクルと U曲線の関係

Crystalizing

新たな思考が創造された状態

要するに「思いついた」状態



Crystallizing

思いついたあとは
PDCAサイクルで
アイデアを改善していく

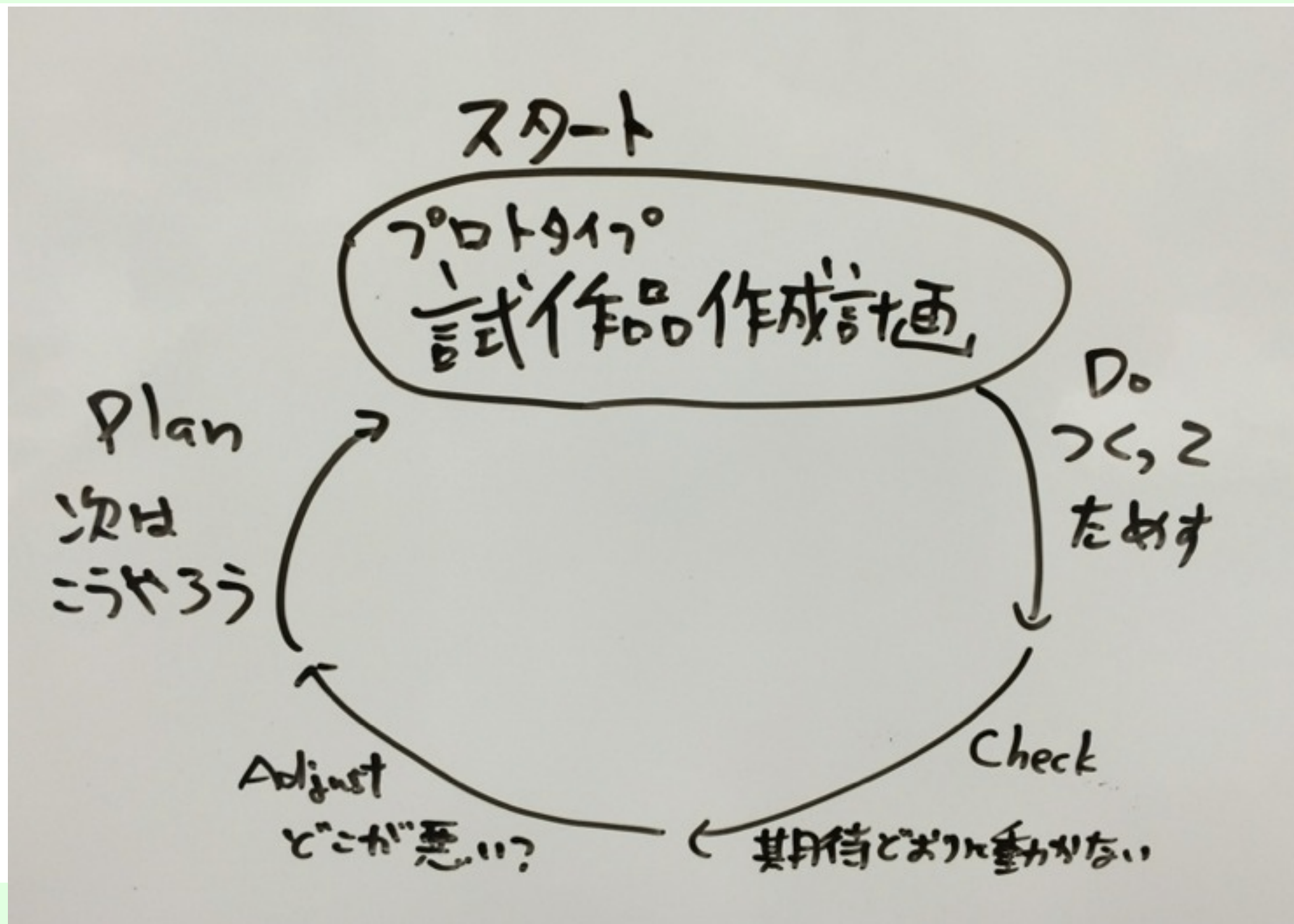
アイデアの改善



考えているだけではわからない



試作品を作る計画



Prototyping

Crystalizingによって

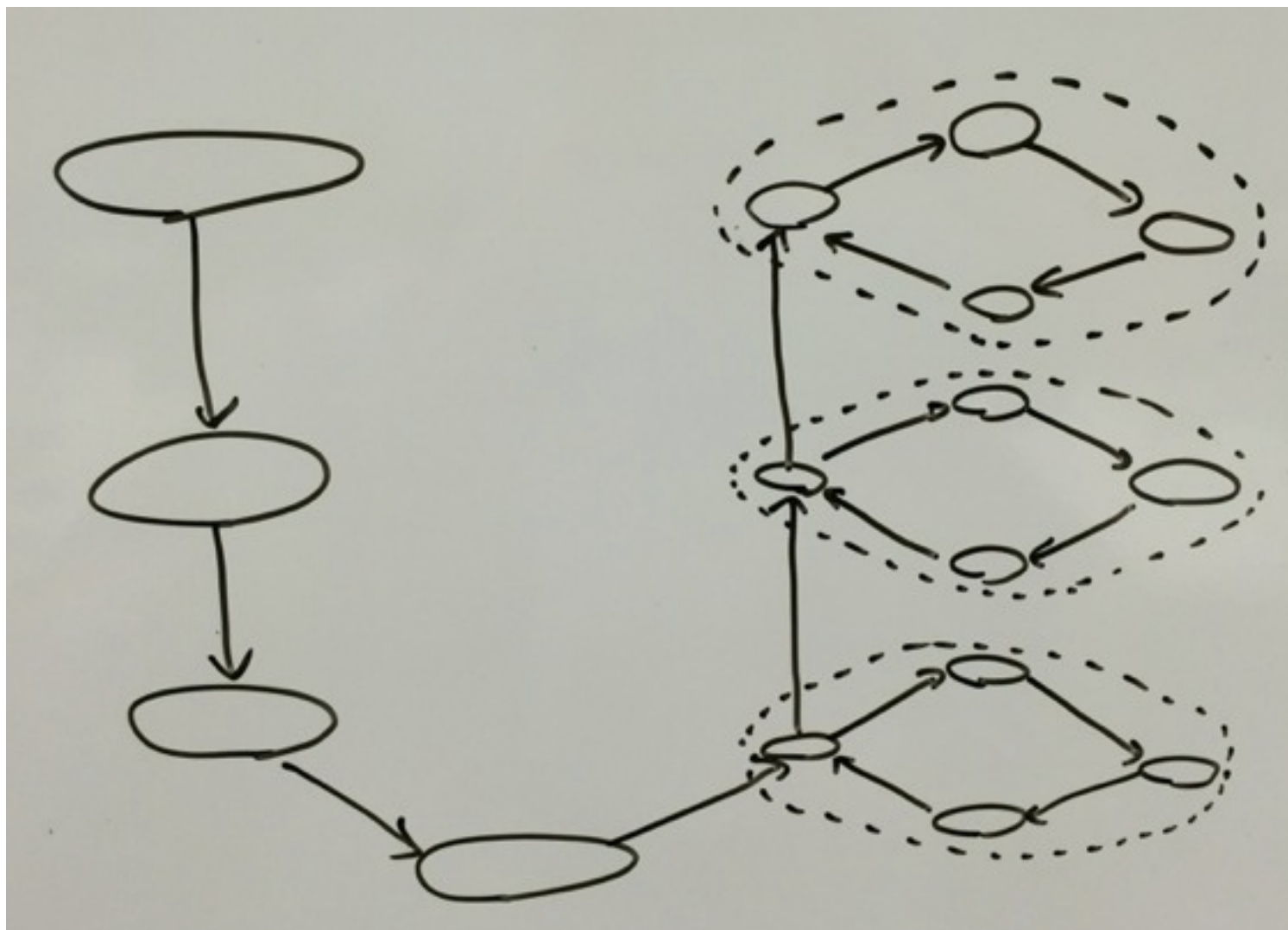
最初のPlanが作られ

PDCAサイクルで改善していく

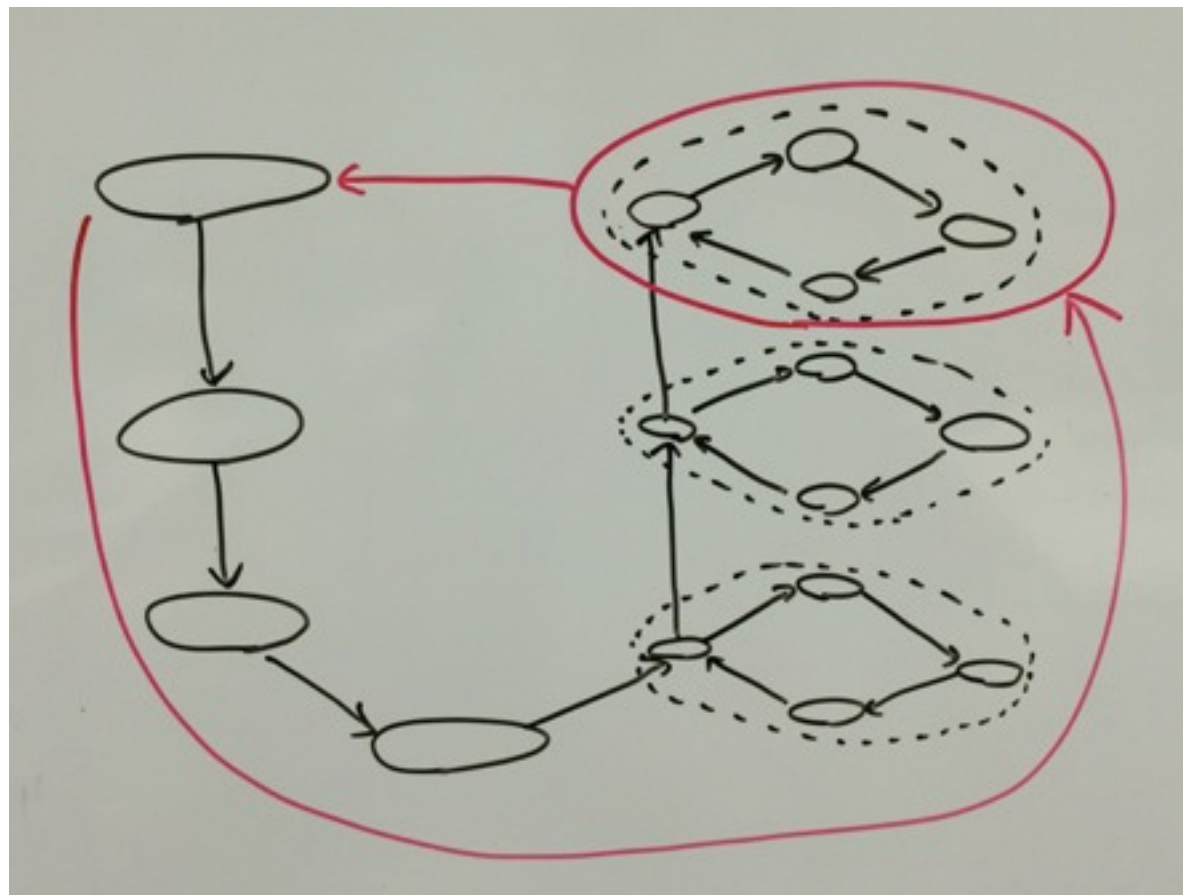
Performing

試作品が上手く動いたら
既存のシステムと結合(Do)して
PDCAサイクルを回す

U曲線の後半はPDCA

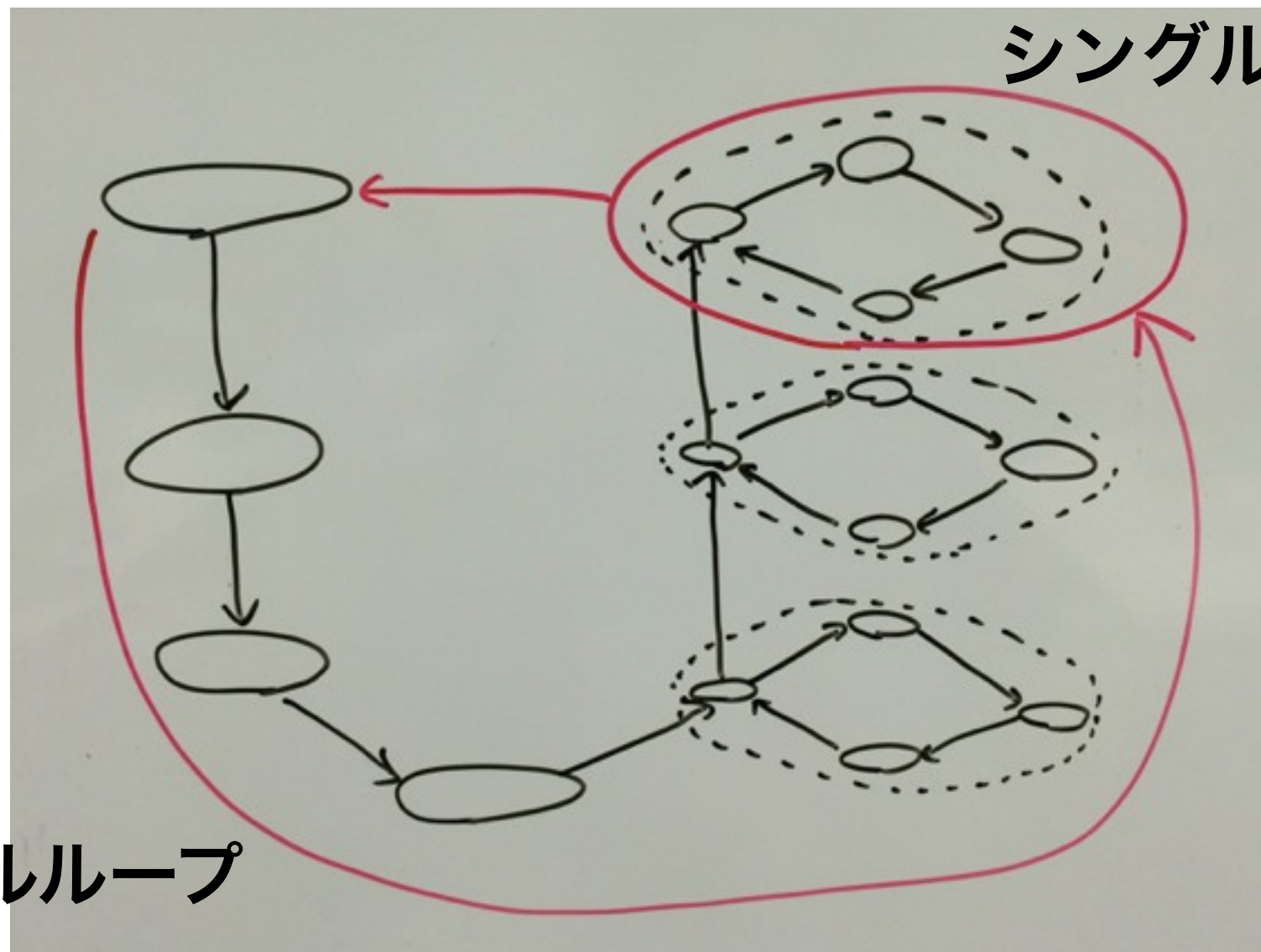


Performingで成果が出ると、
そのやり方が普遍的に正しいと信じがち



既存のPDCAサイクルを疑わない状態→Downloading

シングルループ



Downloadingに陥っていないか見直す必要がある

Q: 新しいことをやる場合
どこから始まる？

A: U曲線の前半4ステップ

TODO